



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2025年3月 通巻 423号

今月のテーマ BF (Brotherhood fund) ネット



会長	澁谷弘祐	クラブ会長主題	「親睦を通して、互いを知ろう」
副会長	岡部八千代	国際会長	A・シヤナヴァスカーン (インド) 「より良い世界のために、共に」
	小林勉	アジア太平洋会長	ジョウン・ウォン (香港) 「大きなインパクトを起こそう」
書記	大澤和子	東日本区理事	山田公平 (宇都宮) 「ワイズの方向性を見極める」
会計	金本伸二郎	関東東部部長	山本剛史郎 (川越) 「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」

今月の聖句

「私たちは取るに足りないしもべです。なすべきことをしただけです。」

ルカの福音書 17章10節 (新改訳聖書 2017)

3月例会

日時：3月15日(土) 18:00~20:00

場所：子育て子育てセンター

第1部：司会	小林 勉
1 開会点鐘	澁谷弘祐
2 ワイズソング	
3 ワイズの信条	
4 聖書・祈り	金本伸二郎
5 来賓紹介	
6 会食	
7 自己紹介	
8 モンゴルを旅して	永窪 綾子
9 YMCA 報告	太田 聡
10 ワイズ報告	澁谷弘祐
11 誕生・結婚記念	
12 閉会点鐘	澁谷弘祐

永窪綾子さんプロフィール

日本児童文学教会 東北アジアの会 会員

1943年兵庫県養父市に生まれる。「ぼくのとめとみみ」「はるかな大空のむこうから」他多数。最近作として「てのひら詩集Ⅰ」「とんでけ とんでけ ねむねむしゃぼんだま」「こぐれ森の子ギツネと子ダヌキたち」

終活 (その3)

小林 茂和

「終活」と題して、3回に亘り、自分の意思で自分の財産を整理することを目的とする遺言書の問題点について寄稿してきましたが、今回は、最近の離婚の状況についてお話しさせていただきます。

既に御承知置きのことと存じますが、夫婦間で離婚の合意が成立しない場合、離婚を求める側が裁判手続に及ぶこととなります。

ところで、離婚する際、単に離婚するだけでなく、離婚の原因を作出した側に対する慰謝料や、夫婦として形成した財産の分割方法、即ち財産分与に関して、夫婦で話し合っ合意した方が、離婚の届出をした後に財産分与に関して話し合っ合意するより、離婚後の生活能力が乏しい者(多くの場合、女性になります)にとって有利な解決方法となります。

ちなみに、年金分割は、婚姻期間に納めた厚生年金を「夫婦共同で納めた年金」として分割する制度で、被扶養者の場合、平成20年4月1日以降の婚姻期間中の年金については被扶養者が単独で50%に、それ以外の場合は年金事務所から「年金分割のための情報通知書」をもらい、夫婦で分割割合を決めて(但し、最大50%)、年金事務所において年金分割請求の手続をします。

なお、財産分与は、離婚後2年経過したら相手方に請求できません。

また、財産分与は、婚姻～離婚するまでの間に夫婦間で形成した財産(住宅ローン等のマイナス財産を含みます)を2分の1の割合で分割するもので、預貯金等分割できる財産については2分の1の割合で、不動産等のように分割できない財産については時価相当額の2分の1に相当する金銭を支払うのが一般的な方法で、退職金に

については、離婚時の退職金相当額を財産として2分の1の割合で分割します。

離婚の時期に関しては、所謂熟年離婚が増えています。これは、子供がいる場合には、子供の苗字や就職活動等子供に与える影響や、退職金を受け取った後の方が分与の対象となる財産が多くなることから、家庭内別居等、法律上の離婚をせず、離婚の時期を遅らせていることによるものと思われます。

離婚は、結婚していることが前提になりますが、結婚は、互いに一生を添い遂げることを前提としてお互いに誓い合った上でするものであり、離婚を前提とはしておりません。

また、夫婦関係が円満に推移していることが子供の成育にとって肝要であることは自明の理です。

夫婦関係に溝が生じた、或いは生じる恐れがあると感じた者は、その感情を自分の殻に押し止めて置くのではなく、その都度、素直に相手に伝え、その感情を取り除くことが夫婦関係を維持するために必要な努力だと思います。

人生を共に歩んできた配偶者とは、財産を分割するのではなく、日々の喜怒哀楽、更には老いも分かち合っていきたいものです。

2月例会報告

宮地 輝子

参加者：(敬称略)

・ヴェンカテッシュさん・金丸会員増強主査・山本関東東部部長・新井・大澤・柿原・金本・上山・木下(通訳)・小林・澁谷弘祐・澁谷実季・すみれ君・宮地



2月2日、ヴェンカテッシュさんの歓迎会と柿原さんの入会式をあわせて2月例会がYMCA子育て子育てセンターで行われました。ゲストはヴェンカテッシュさん・山本関東東部部長・金丸会員増強主査です。他に、元会員の木下さんが通訳をしてくださいました。

第1部は小林勉さんの司会、澁谷会長の開会点鐘で始まり、柿原さんの入会式が行われました。澁谷会長の入会式の式文朗読の後、柿原さんは同意する意思を表明され、入会が承認され、山本関東東部部長がバッジを付け

られ、金丸会員増強主査が入会キットを渡されました。柿原さん入会のきっかけは「故小関さんにお世話になったから入会するのだと思った」からだそうです。



次に来賓のBF代表のヴェンカテッシュさんをお迎えして「インドのワイズの事情」についてお話を聞きました。ヴェンカテッシュさんご夫妻は1月26日に成田に着いてから

それぞれのクラブの歓迎を受け、川越クラブの案内で4泊された後、この所沢クラブにお迎えしました。ご夫妻で参加いただく予定でしたが、奥様はお疲れになり、ヴェンカテッシュさんお一人での参加となりました。

「山本ブラザー、その他の友人たち、新しい会員の皆さん、こんばんは」と挨拶されて、インドでのワイズの状況を話されました。インドではレギュラーのミーティングの他に、家族会議があり、地域全体でスポーツ大会、文化的な活動など、相互に地域で競争し合い、それが評価され、それぞれポイントが与えられるそうです。ヴェンカテッシュさんはインドの南西部ケララ州の昨年の理事をされて活躍された方です。奥様も同様にワイズでご活躍とのことですがお会いできず、残念でした。日本とはだいぶ違うインドのワイズの活動の様子を知ることができました。山本部長によると、インドや韓国ではワイズメンが増加、日本と比べてはるかに規模が大きいとのことです。

YMCA報告では太田主事の代わりに新井さんから「トランプ大統領の就任にあたり、YMCAの曲が流されたが、YMCAは政治的団体でなく、政治とは全く関係ないことを世界YMCA同盟が発表、日本YMCA同盟も賛同していること。また小谷総主事が1月で退任、2月から太田さんが埼玉YMCA総主事になる」との報告がありました。

続いて第2部は大澤さんの司会でヴェンカテッシュさんの歓迎会が行われました。所沢クラブは持ち寄り、日本のお料理を用意しました。日本の料理にも興味があるというヴェンカテッシュさんは赤飯・パンとディップ・

ふろふき大根・白菜コールスロー・キノコ・温野菜・リンゴのコンポート・お煮しめ・天ぷら・鶏照り焼き・だし巻き卵など用意しましたが、どれも召しあがってくださいました。

会食中、ヴェンカテッシュさんは「日本人はきちんとして、礼儀正しく、規則が守られている。親切で、どこも自動化されていて、技術が発達している」「日本にはインドから多くの人 coming いる」と話されました。こちらから素朴な質問をしても丁寧に答えてくださり、終始気さくに思いやりのある温かなお人柄が感じられ、楽しく話がつきませんでした。

奥様にお会いできなかったのは残念でしたが、和やかに楽しく、思い出に残る例会・歓迎会となりました。

インド BF 代表 ヴェンカテッシュご夫妻と大澤・澁谷



同行は小林恵子と大澤和子の凸凹姉妹。ほとバスで東京駅から、皇居⇒浅草⇒東京タワーとめぐるコースでした。浅草で昼食は三定で天ぷら定食。奥様は天ぷら NG で、白いご飯と付け合わせの山菜のみで、申し訳なかったです。東京タワーの中にあるローソンでメロンパンなど菓子パンを購入してバスの中で遅い昼食を召し上がりました。どこも外国人ばかりで、着物を着たかわいい女性にカメラを向けると中国人。でもヴェンカテッシュさんご夫妻は、楽しそうに着物姿のレディーと写真に収まっています。夕方、所沢パークホテルに迎えに来られた澁谷夫妻とバトンタッチで、ご夫妻は飯能ヘリテイジホテルに向かわれました。」（大澤）

10時にヘリテイジホテルにお迎えに上がり、小松沢レジャー農園にていちご狩りで食べ放題、お土産に苺をお持ちになりました。



秩父神社に移動して、境内の見学、周辺の街並み散策しました。祭り会館は休館でした。

車内で、手作りのサンドイッチ、サラダ、くだものを召し上がりになり、東秩父村の和紙の里に向かいました。和紙の体験をされました。



ときがわ町の山頂にあるカフェに行きティータイムと休息。

毛呂山に戻り、ダイソーで買い物しました。お目当てのコスメやアクセサリーが無かったので、ドン・キ

ホーテに向かいました。

買い物終え、ホテルにお送りしました。夕食は時間が遅くなったのと、すみれくんが寝ていたこともあり、コンビニで食べられそうなものを選んでいただきました。（澁谷実季）



今後の予定

大澤和子

3/8~9 次期会長役員研修会 @唐山草

4/12 4月例会 (入間グループ)

4/19 関東東部評議会

W4W (Week for Waste) よりクリーンな世界を目指して、環境整備を行う。

5/10 5月例会 (大泉グループ)

ブリテン1面 小林勉 例会報告 小林恵子

YMCA 報告 (埼玉 YMCA 総主事) 太田 聡

(総主事就任)

2月1日より埼玉 YMCA 第7代総主事を拝命いたしました。1973年に大宮の地で有志の方々と東京 YMCA からの支援で始まった埼玉 YMCA ですが、事業内容や場所が時代と共に変わりながらも、一貫して多くの方の思いや祈りの支えの中で歩んできたことを改めて覚えます。

YMCA のメンバーでもリーダーでもなく、就職活動中に初めて YMCA を知り、2002年に新卒で入社しました。今日までの23年を振り返ると、素晴らしい出会いや学びの日が思い起こされ、育てていただいたなと感謝の気持ちでいっぱいです。

YMCA は様々な世代が集まる、出会いの場、学びの場、成長の場であります。「みつかる。つながる。よくなっていく。」のスローガンにあるような場面が、地域の中へ広がっていくことを願い、ボランティア・スタッフ一丸となり努めてまいります。

2020年からのコロナによる影響は、5類の引き下げ以降、事業が回復しつつも、以前のレベルまでには戻っていません。2023年に50周年記念式典は行いましたが、記念事業や募金活動を進めることができませんでした。代表理事となった吉野勝三郎さんと共に、これから委員会をもって進めてまいりますので、具体的な取り組みがまとまりましたら、是非ワイズメンの皆さんにご協力をお願いいたします。

最後に、皆さまに3つのお願いがございます。①直接声をかけていただく時は、「総主事」という役職名ではなく、今まで通り「太田さん」と呼んでください。②お知り合いやお友だちにワイズや協力会員加入のお誘いをお願いします。③普段のお祈りに埼玉 YMCA のことを加えてください。

長年にわたるワイズメンズクラブのお支えに感謝し、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(依存症予防教育事業)

文部科学省の事業を受託し、2月23日に「つながりから考える依存症予防」というセミナーを子育て子育てセンターで実施いたしました。

午前中は中高生、午後は保護者・一般を対象にし、ワイズの皆さまにもご参加いただきありがとうございました。

昨年10月にデジタル依存をテーマにお話をさせていただきましたが、私が日頃よりお世話になっている専門家の先生方を4名講師として招き、事例発表と鼎談を行いました。

なぜ人は依存してしまうのか、依存することは果たしてダメなことなのだろうかなど、様々なことを考えさせられました。

熊谷晋一郎先生の「自立とは依存先を増やすこと」という言葉も紹介されましたが、1つだけでなく、複数の依存先(拠り所)をもつことが大切であると感じました。社会的孤立が地域の問題として取り上げられている中、ますます YMCA の働きの重要性を感じました。



埼玉 YMCA を支えるチャッチャ茶トリオ



ご贈答用には
100グラム 1000
円の新茶

ご家庭用には
200グラム 1000
円の新茶(粉
茶)

ビタミンCやEの豊富なほうじ茶 100グラム 600円
ご注文は大澤まで

☎ 090-4835-0233

✉ osawakazuko@yahoo.co.jp

2月例会

所沢クラブ8名 メネット1名 コメント1名
ゲスト4名